

会 議 要 旨

会議名	令和4年度第1回館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会
開催日	令和4年5月18日(水) 午後1時30分～午後2時30分
開催場所	館山市役所 本館2階会議室
出席者	館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョン懇談会委員：12名 (事務局) 館山市：4名 (オブザーバー) 南房総市：3名、安房地域振興事務所：1名
公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 <input type="checkbox"/> 非公開
非公開の場合の理由	
傍聴者	0名
会議概要・結果等	<p>1. 開会</p> <p>2. 新任委員の紹介 新任委員4名が自己紹介</p> <p>3. 議題</p> <p>(1) 会長及び副会長の選任について 会長：土屋博章 委員、副会長：石渡雄悟 委員、を選任。</p> <p>(2) 館山市・南房総市定住自立圏共生ビジョンについて 前回の質疑のうち未回答であった項目の回答、現時点での共生ビジョン(案)について事務局から説明。(資料2)</p> <p>【質疑応答】</p> <p>《室 委員》 参与として矢尾雅義氏を委嘱し続けるのか。</p> <p>《事務局》 単年度更新の参与委嘱となっているが、矢尾氏で進めていきたいと考えている。なお、委嘱に係る費用については、共生ビジョンに掲載することにより交付税措置されることとなる。</p> <p>《上條 委員》 プラスチックの活用方法なども環境問題の一因である。館山わかしおトライアスロンなどの市の行事で環境問題に対する市の取り組みを示す必要もあるのではないか。他の行政ではイベント等を活用し取り組みを積極的に公開している。</p> <p>《事務局》 イベント等での啓発活動は実施していきたいと考えている。担当課と調整していく。</p> <p>《上條 委員》 地球温暖化防止対策事業の単年度事業費100万円の内訳は</p>

どのようなものか。

《事務局》

啓発活動費用として活用すると担当課から聞いている。

《堀江 委員》

電気自動車（EV車）用の充電設備が君津以南にない。EV車が増えてきていることから、圏域内への設置を希望する。

《事務局》

担当課と調整し検討したい。

《石渡秀嗣 委員》

今回、17事業が定住自立圏での事業としてスタートすることとなるが、それぞれの事業の横のつながりが薄いように感じられる。

《事務局》

行政や各団体、事業所などと連携して事業を進めていきたい。

《木曾 委員》

各事業について「～を行う」とビジョンに記載されているが、到達点や目標はあるのか。

《事務局》

重要業績評価指数（KPI）をビジョンの大項目ごとに設定した。これを到達目標として各事業を進めていく。

《木曾 委員》

市境に住む小学生の中には、市境を超えて隣の市へ通うことを許可されている小学生がいるが、中学校については許可されていないため、市内の中学校へ通っている。館山市の小学生が南房総市の三芳小学校へ通い、中学校は館山市の第一中学校へ通っているのが一例。進学により友達と離れることとなるが、このビジョンの策定により解消されるのか。

《事務局》

亀ヶ原地区での実績があることは両市の教育委員会も把握している。一度、本来の姿である市内の学校に通うことに戻す方向と聞いている。

《岡崎 委員》

館山総合高校の事例があったが、寮を用意するには費用を要する。例えば、市内の空き家の活用ができ、学生とともに母親だけでも転居することができれば、規則を変えなくても学区外からの入学が可能になるのではないかと聞いている。

《事務局》

館山市は平成26年度から毎年、市内の高等学校校長と意見交換を行っている。その中で、専門科への進学を希望する学生が寮を所有する県外の学校へ進学しているとの情報を得ており、別の調査では、水産系学科の場合、千葉県内から東京都や新潟県の

寮を保有する高校への進学実績がある。寮を用意することなど、県内で希望の学科に通えるよう、館山市長名で県へ要望を行っている。

《岡崎 委員》

中高一貫校の設置について進んでいるのか。優秀な学生が木更津など区域外へ進学しているのが現状であり、安房地域で学んでもらいたいと考えている。また、県も高等学校の再編を検討していることから、地域がこうしたい、と希望することも大事ではないか。

《事務局》

中高一貫校の設置については、安房高校の校長の許可を得て、県へ要望を提出した。平成26年度から各高校の定員割れが始まり、各校長も危機感を感じている。県の計画では、10校程度の削減を目指しているとのことだ。以前は館山総合高校にも寮があったが、現在は無いため、同系列学科を有し、寮も保有する都立大島高校や新潟県立海洋高校に進学している。また、島根県立隠岐島前高校など、全国から生徒を集めている高校もある。

(3) 今後の予定について

今後のスケジュールとパブリックコメントの実施について、事務局から説明。(資料3)

【質疑応答】

《室 委員》

パブリックコメントの意見募集につきまして、従前の方法だけではなく、L o G o フォームの活用やL I N E での周知による意見募集も導入するのはどうか。

《事務局》

検討し実施したいと思う。

4. その他

なし。

5. 閉会